

～脳神経外科発～

こんな症状があったらご紹介下さい。

歩行障害、認知症、尿失禁を呈する特発性正常圧水頭症の診療を行っています。

さて、超高齢社会に突入した日本におきましては、認知症患者の増加や介護の負担も社会的な問題となっております。当院では、メディア等でも「改善する認知症」として取り上げられている特発性正常圧水頭症 (idiopathic normal pressure hydrocephalus, iNPH) の診療にも注力しております。iNPHの治療は、患者様ご自身のuseful lifeの観点からも、またご家族の介護を軽減するためにも、今後ますます重要になると考えています。

水頭症とパーキンソン病のちがいがい ●歩き方が全然ちがう



1、症状

●歩行障害 (出現頻度90%~100%)

歩幅の減少 (小股でよちよち)、足の挙上低下 (摺り足)、歩隔の開大 (両足が開きぎみ) が三大特徴です。このため歩行はゆっくりで、不安定となり、転倒しやすくなります。もっとも高率に出現します。

●認知機能障害 (出現頻度70%~90%)

集中力、意欲、自発性の低下、反応速度の低下があります。趣味などをしなくなり、1日中ボーっとしています。

●排尿障害 (出現頻度60%~80%)

トイレが近くなり、我慢できる時間が短くなります。歩行障害のためにトイレまで間に合わずに失禁してしまうこともあります。



- ・小刻み
- ・すり足
- ・開脚



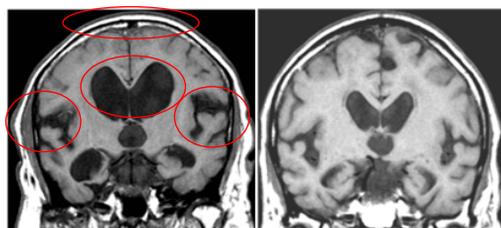
- ・自発性・意欲の低下
- ・集中力・作業速度の低下
- ・記名力障害



- ・頻尿
- ・尿意切迫
- ・尿失禁

2、診断

iNPHは頭の病気ですから、MRIやCTなどの脳画像検査を行います。脳室の拡大およびiNPHに見られる特徴的な画像所見の確認、それに3つの症状も参考にします。次に実際に髄液を腰から排出して経過を見る「髄液タップテスト」を行います。髄液を抜くことで歩きやすくなったり・話し方がはっきりしてくるなど変化が見られるか否かで判定します。



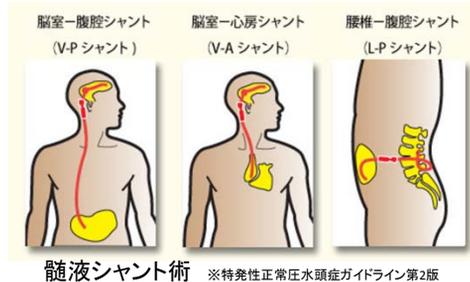
特発性正常圧水頭症

アルツハイマー型認知症



3、治療方法

iNPHの治療は、髄液シャント術を行います。脳室や腰椎くも膜下腔にチューブをいれ皮下を通し、腹部に埋め込む手術(V-Pシャント・L-Pシャントなど)です。手術は比較的
安全簡単で1時間という短時間で済みます。シャントバルブ
には髄液の流量を制御する機能があります。また、髄液の流量は
手術後に調整が可能です。入院期間は約10日間です。

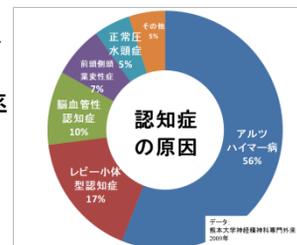


4、治療効果

髄液シャント術後の改善率は、歩行障害52%-80%・認知障害29%-59%・排尿障害41%-71%であるという結果が多施設共同研究(SHINPHONI2)に記載があります。(出典:SHINPHONI2)

5、発生頻度

認知症の原因疾患の5%-10%と言われております。日本全国に70万人程度の方が罹患している可能性があります。これはパーキンソン病の患者さんの2-4倍の有病率になります。しかしながら、その診療率は低くほとんどの方が見過ごされているのが現実です。



6、おわりに

手術により歩行障害・認知機能障害・排尿障害の3症状が改善し、患者さんご本人の自立が高まれば、介護負担も軽減され、患者様およびご家族のQOL(クオリティー・オブ・ライフ)の向上が可能となります。

また、iNPHは認知症の原因疾患のひとつとして扱われることが多く、神経内科や精神科領域の疾患と捉えられがちですが、初期症状は歩行障害から現れる特徴から考えると、初診ではかかりつけ医や整形外科、リハビリテーション科などを受診されることも多いように思われます。少しでもiNPHが疑われる方がいらっしやいましたら是非、ご紹介いただきたく申し上げます。

その他、気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。

7、外来表

月	火	水	木	金	土
古賀 広道 松尾 吉紘		古賀 広道 松尾 吉紘		古賀 広道 松尾 吉紘	

受付時間: 午前8時30分から午前11時 診療時間: 午前9時から午後4時

8、問い合わせ先

脳神経外科 古賀 広道 松尾 吉紘
TEL: 0979-22-2480 FAX: 0979-22-2481